円山地区自然観察会

2008.7.26(土)　ちぐさ公園にて

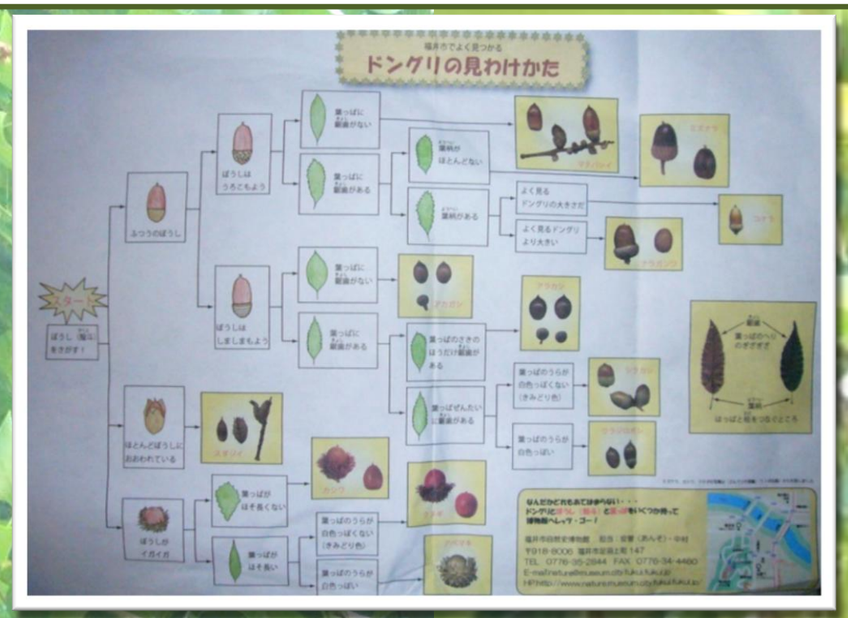
達人：多田　喜代子さん（大東）

［主　旨］

円山の自然を調べ、観察することにより、地域に対する理解を深めることを目的とする。

［内　容］

ちぐさ公園の樹木は実のなる気を中心に植えられています。どんぐり・ぐみ・花梨・イチジク・羅漢樹・・・昔小さいときに学校帰りにつまんで食べた覚えのある木の実ばかりで、それらのエピソードも子どもたちに伝える。また、虫がたくさんいるところにクモの巣は作られる。クモの巣があるということは農薬が掛かっていないということであることも関連して説明があった。望遠鏡を使っての野鳥観察、どんぐりの帽子や葉っぱからドングリを見分ける方法も学んだ。

［成　果］

日頃何気なく利用しているちぐさ公園の樹木だが、説明を聞きながらだととても関心を持って聞くことができた。子どもたちからも次々と質問が飛び交い、子どもたちの知りたいという時にすぐ対応できることはとてもよかった。また、夏休みの初めの時期ということもあり、夏休みの課題研究の材料にもなったようだ。